

のびるよ そだつよ

国立市立国立第五小学校 研究便り

校長 白鳥 聡

NO. 5 令和5年2月17日

(編集：国立第五小学校 研究部)

この「のびるよ そだつよ」は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をホームページ上でお知らせしていきます。

1年2組 国語「おはなしをたのしもう」 1月31日(火)

1年生は「おはなしをたのしもう」で、本の表紙からどのような鬼かを想像し話し合う授業を行いました。子供たちはこれまでの生活経験から様々な鬼を知っているためか、絵本の表紙から様々な想像をしていました。「鬼の表情から、〇〇な鬼じゃないか。」



「持っているものから、〇〇な鬼じゃないか」と話し合いを進めると子供なりの根拠を伝えることができ

ていました。各班でワークシートにまとめた後に発表し、クラスで交流することができました。発表の後、実際に本を読むと、想像した鬼と全く違うこともあり、驚きながらも意欲的に楽しく本を読んでいました。子供たちが自分から「読みたい」と思い、主体的に本を読む機会を今後も増やしていきたいと思いをします。



5年1組 社会「森林とともに生きる」 2月10日(金)

5年生で社会の「森林とともに生きる」授業を行いました。日本の森林の状況や森林の役割を知り、私たちの生活に深くかかわっていること、その保全について自分ができることを考える学習です。子供たちは「林」「森」は知っていても、それがどのように自分と関わっているのか深く考えたことがあまりありません。画像や動画を介した情報や、自分の経験や知っていることを友達と伝え合うことで知識を広げています。

子供たちは「林業を営む人が高齢化で減っている」ということを知り、どうしたらいいかを考えました。学習して分かったことや、実際にどんなことをやっているのかを教科書や資料集から読み取り、調べたことをオクリンクでカードにまとめ、友達と見合って交流しました。授業の後の、教員の協議会では、作る時間と、交流する時間を確保していくことや、話し合う活動を計画の中にどう入れていくかなどの課題を話し合いました。

